

2024年6月17日

最近の長野県経済の動向 (月例調査)

概要

全国景気*	このところ足踏みもみられるが、緩やかに回復している
長野県内景気	足踏みの状態にある
3月の生産動向	生産は減少している
4月の個人消費	乗用車新車販売は4カ月連続で前年を下回る
4月の公共投資	公共工事保証請負額は4カ月連続で前年を上回る
4月の住宅投資	新設住宅着工戸数は3カ月ぶりに前年を下回る
4月の雇用情勢	有効求人倍率は2カ月ぶりに前月を下回る

今後は、個人消費に影響を与える実質賃金の伸びがプラスに転じ、推移していくかどうかに注視する必要がある。

※内閣府「月例経済報告(2024年5月)」より

照会先

一般財団法人 長野経済研究所 調査部

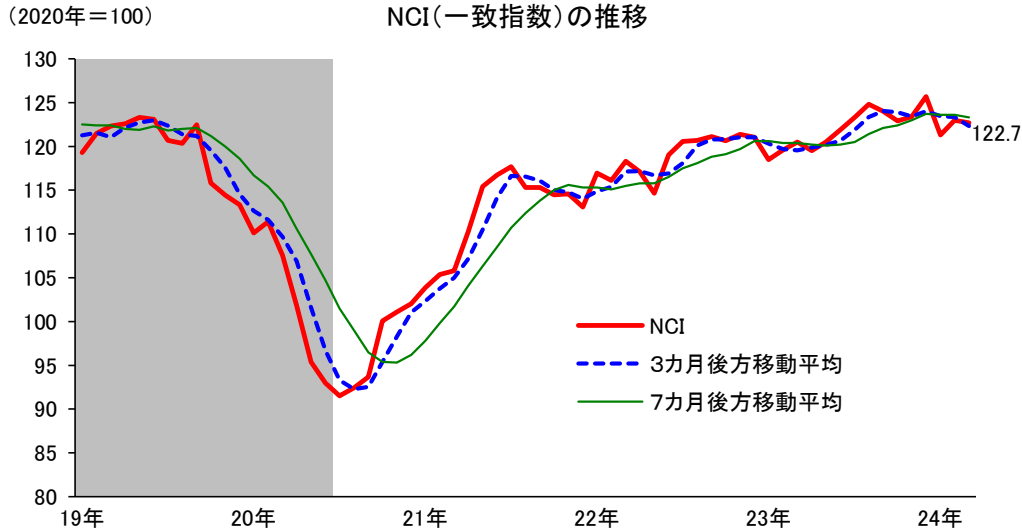
担当 桑井、伊東

電話 026-224-0501



景気動向指数

- 3月のNCI(一致指数)は、122.7と前月と比較し△0.3ポイントとなった。3カ月後方移動平均は同△1.0ポイントと3カ月連続で低下し、7カ月後方移動平均も同△0.3ポイントと2カ月ぶりに低下した。NCI(一致指数)は、足踏みを示している。
- NDI(一致指数)は、25.0%となり、景気判断の分かれ目となる50.0%を3カ月連続で下回った。

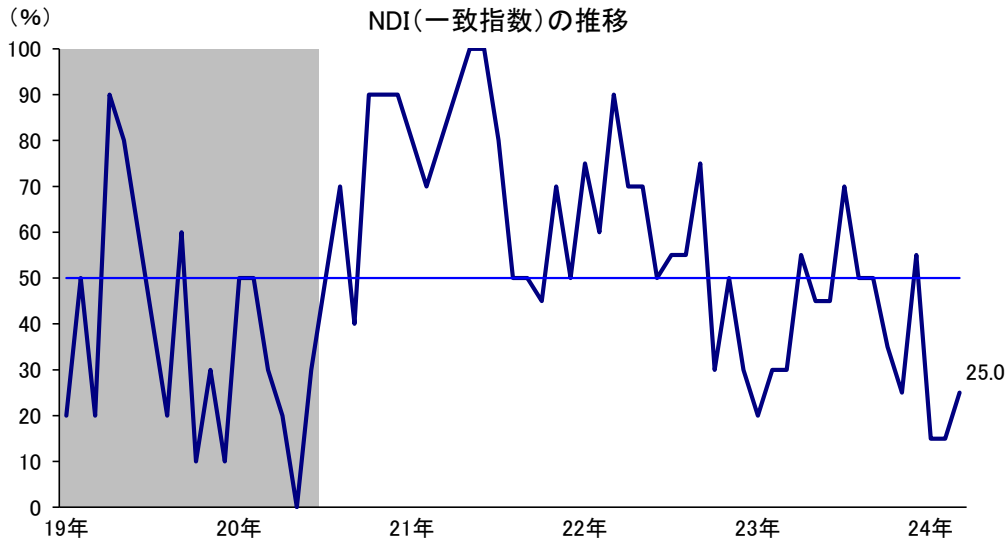


(資料)当研究所「長野県景気動向指数」

注1.NCIは長野県の景気変動の大きさやテンポ(量感)を示す

注2.シャドー部分は長野県の景気後退期を示す

注3. 鉱工業指数の年間補正に伴い、2023年1月以降のデータについて遡及改訂を行っている



(資料)当研究所「長野県景気動向指数」

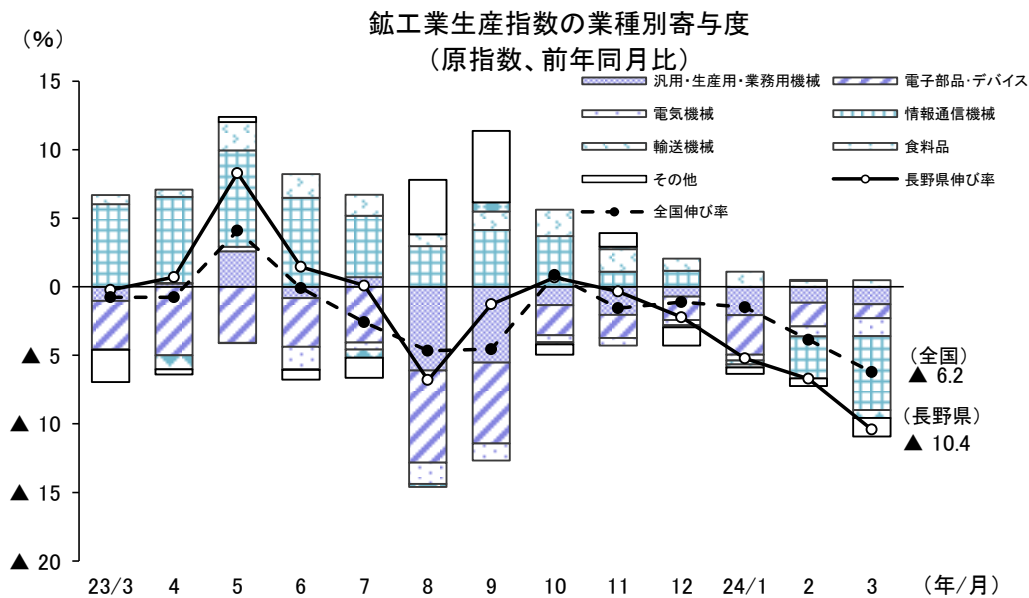
注1.NDIは長野県の景気の方角、波及度合いを示す

注2.シャドー部分は長野県の景気後退期を示す

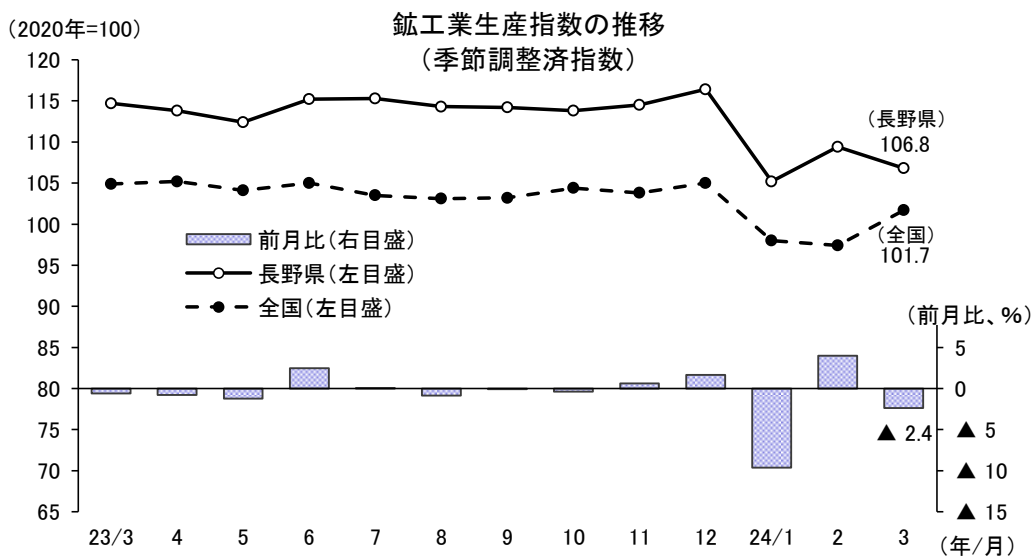
注3. 鉱工業指数の年間補正に伴い、2023年1月以降のデータについて遡及改訂を行っている

生産は減少している

- 3月の鉱工業生産指数は、原指数が前年同月比△10.4%、季節調整済指数が前月比△2.4%となった。
- 原指数は5カ月連続で前年を下回り、季節調整済指数も2カ月ぶりに前月を下回った。一部完成車メーカーの認証不正問題を起因とした生産・出荷停止の影響や中国経済の減速に伴う外需の縮小などにより、生産は減少している。
- 主要業種別にみると、「輸送機械」が前年を上回ったものの、「情報通信機械」「電気機械」「汎用・生産用・業務用機械」などが前年を下回った。



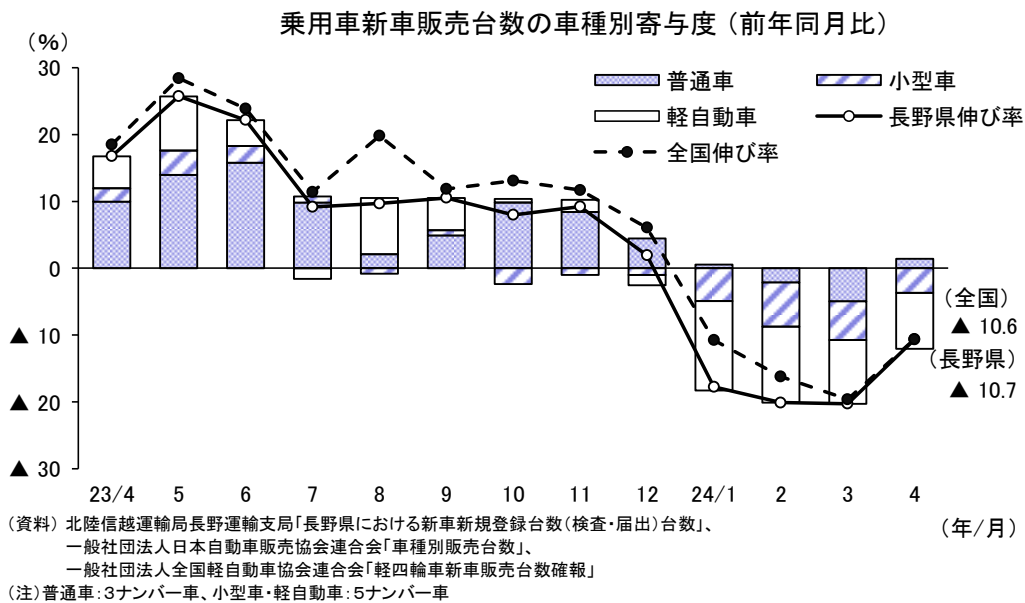
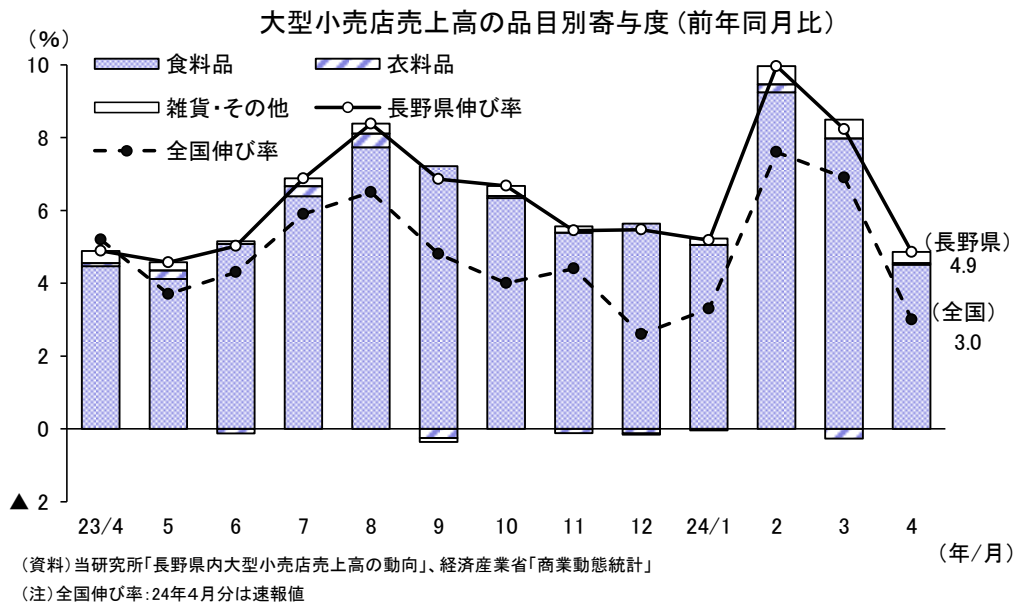
(資料)長野県企画振興部総合政策課統計室「長野県鉱工業指数」、経済産業省「鉱工業生産指数」
(注)長野県については、年間補正に伴い2023年1月以降のデータを更新した



(資料)長野県企画振興部総合政策課統計室「長野県鉱工業指数」、経済産業省「鉱工業生産指数」
(注)長野県については、年間補正に伴い2023年1月以降のデータを更新した

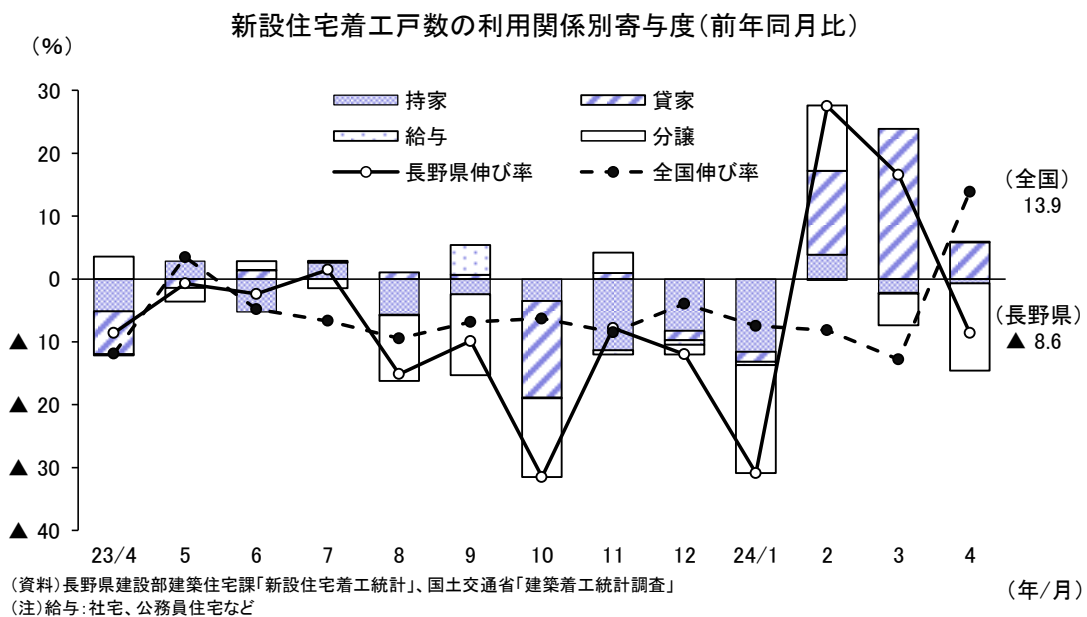
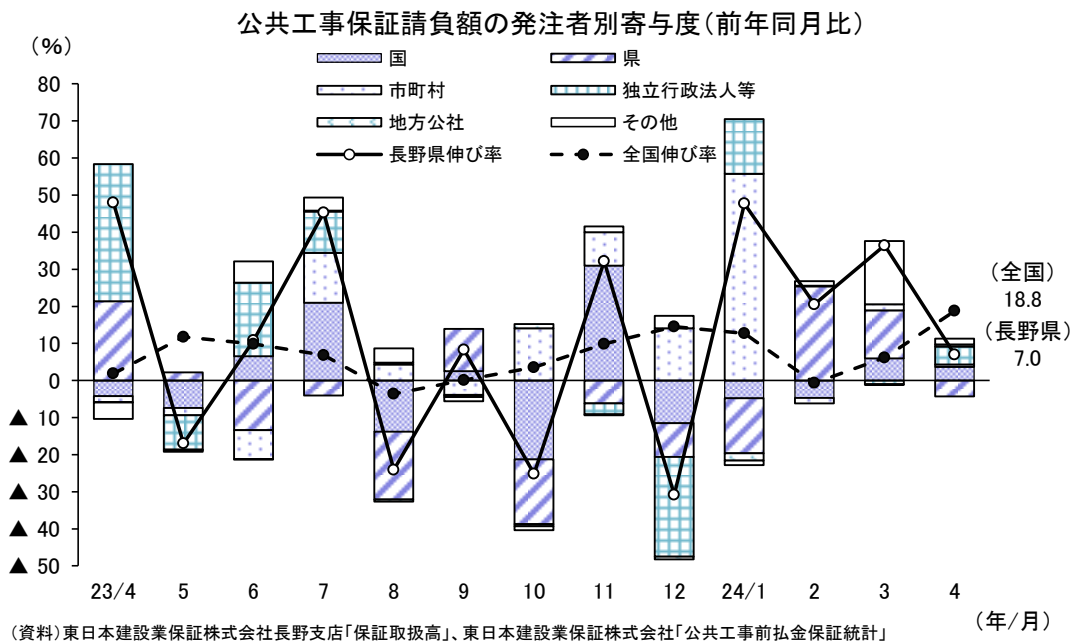
乗用車新車販売は4カ月連続で前年を下回る

- ・4月の大型小売店売上高は、前年同月比+4.9%（売場面積調整前）となり、31カ月連続で前年を上回った。食料品は、生鮮食品が堅調だったほか販売価格の上昇もあり、同+5.3%となった。衣料品は、春物が前年並みの売り上げとなり、同+0.8%だった。雑貨・その他は、化粧品や日用品が順調で、同+3.3%となった。
- ・4月の乗用車新車販売は、一部完成車メーカーの認証不正問題を起因とした生産・出荷停止の影響などにより前年同月比△10.7%と4カ月連続で前年を下回った。車種別にみると、普通車は同+3.9%と3カ月ぶりに前年を上回った。一方、小型車は同△16.2%と7カ月連続で、軽自動車は同△20.2%と5カ月連続で前年を下回った。



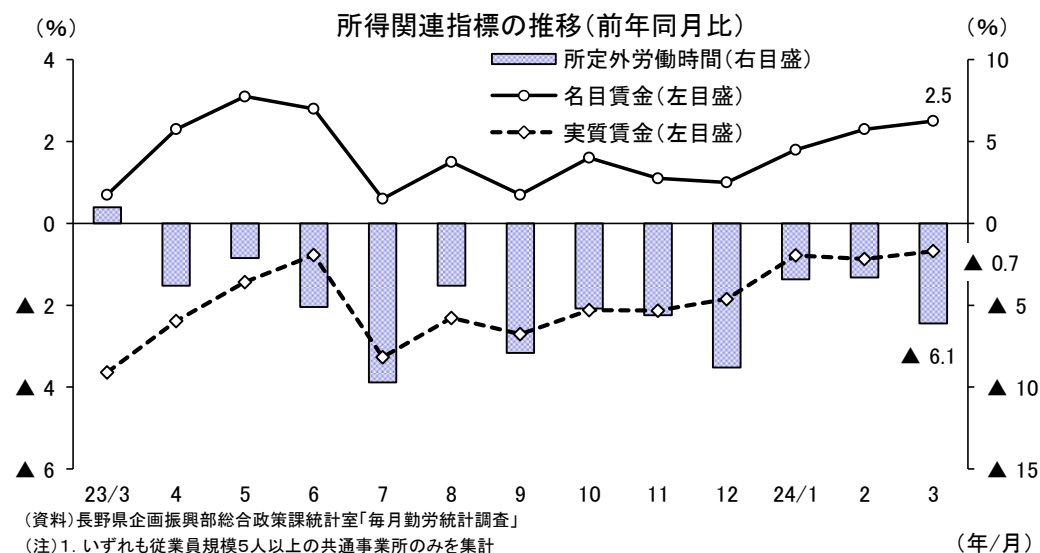
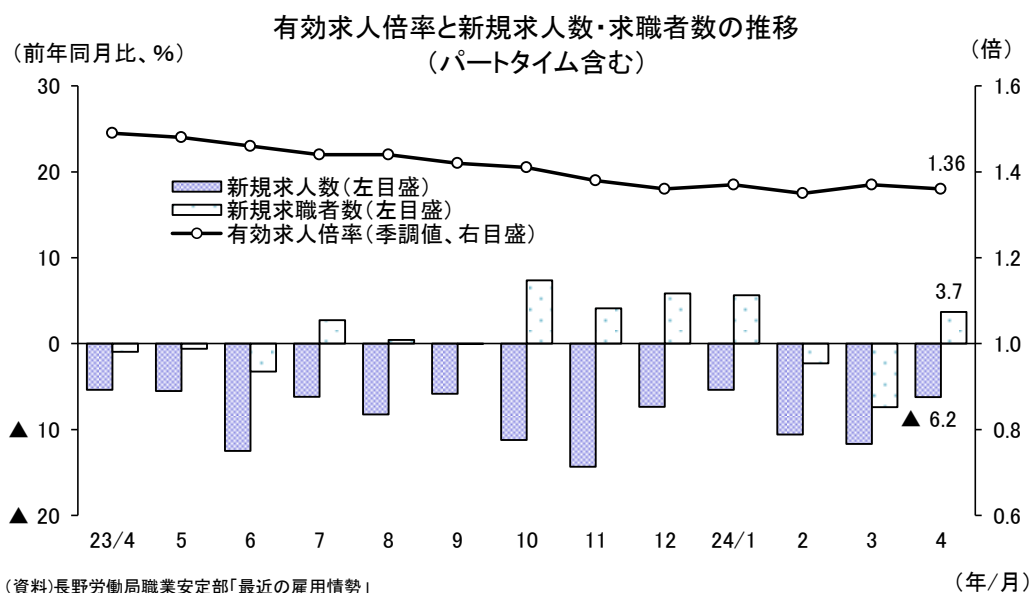
公共工事保証請負額は4カ月連続で前年を上回る

- 4月の公共工事保証請負額は、前年同月比+7.0%の414億6,400万円となり、4カ月連続で前年を上回った。発注者別にみると、県が同△9.3%と減少したものの、国が同+191.2%、独立行政法人等が同+15.0%、市町村が同+3.6%、地方公社が同+1,224.8%、その他が同+457.7%と増加した。
- 4月の新設住宅着工戸数は、前年同月比△8.6%の798戸と3カ月ぶりに前年を下回った。利用関係別にみると、貸家が同+39.8%、給与が同+100.0%と増加したものの、持家が同△1.2%、分譲が同△51.5%と減少した。



有効求人倍率は2カ月ぶりに前月を下回る

- ・4月の有効求人倍率は、前月比△0.01ポイントの1.36倍となり、2カ月ぶりに前月を下回った。
- ・新規求人数(全数)は前年同月比△6.2%となり、14カ月連続で前年を下回った。このうち常用は同△4.3%、パートは同△7.7%となった。主要産業別では、生活関連サービス業・娯楽業が同+15.2%、宿泊業・飲食サービス業が同+8.1%、建設業が同+5.0%と前年を上回ったものの、製造業が同△15.0%、サービス業が同△13.0%、卸売業・小売業が同△8.0%などと、多くの産業が前年を下回った。
- ・新規求職者数(全数)は、前年同月比+3.7%と3カ月ぶりに前年を上回った。
- ・3月の名目賃金は前年同月比+2.5%と35カ月連続で前年を上回ったが、実質賃金は同△0.7%と27カ月連続で前年を下回った。所定外労働時間は同△6.1%と12カ月連続で前年を下回った。



県内地域別・近隣都県別有効求人倍率

有効求人倍率は4地域いずれも前年を下回る

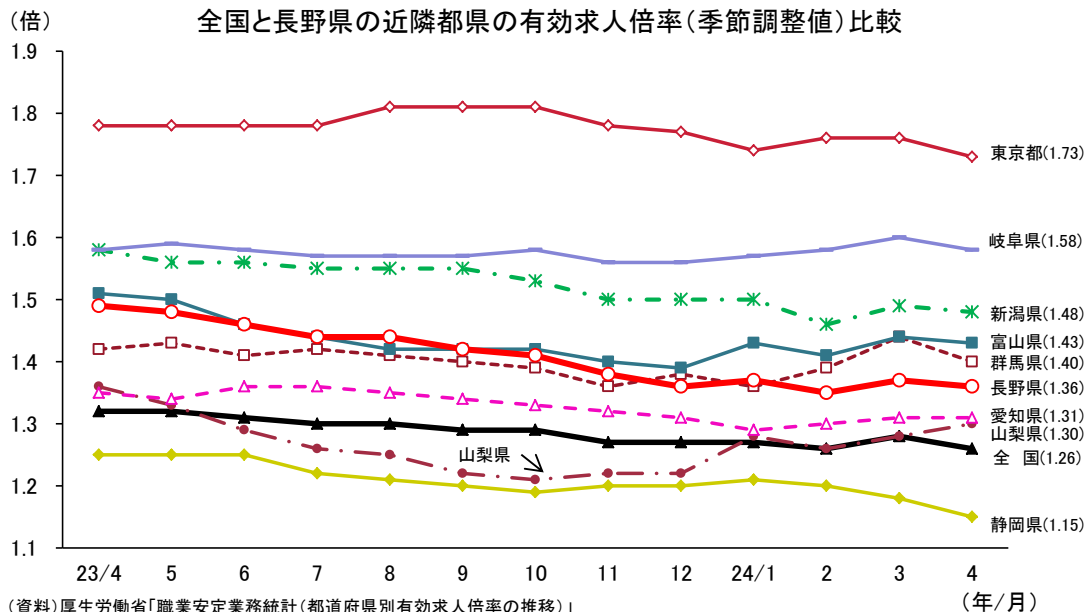
- ・4月の地域別有効求人倍率(全数)は、北信が前年同月比△0.08ポイントの1.22倍、東信が同△0.11ポイントの1.31倍、中信が同△0.21ポイントの1.27倍、南信が同△0.16ポイントの1.25倍となった。
- ・職業安定所別有効求人倍率(全数)は、木曾福島が1.35倍と最も高く、次いで佐久が1.34倍となった。一方、飯山が0.88倍と35カ月ぶりに1倍を下回った。
- ・長野県の有効求人倍率は43カ月連続で全国を上回り、順位は前月より1つ下げ15位となった。

長野県職業安定所別有効求人倍率(実数値)(24年4月)

地域	北 信(1.22) (前年同月比▲0.08)				東 信(1.31) (前年同月比▲0.11)		中 信(1.27) (前年同月比▲0.21)			南 信(1.25) (前年同月比▲0.16)		
	長野	篠ノ井	飯山	須坂	上田	佐久	松本	木曾福島	大町	飯田	伊那	諏訪
全 数	1.33	1.21	0.88	1.15	1.28	1.34	1.28	1.35	1.20	1.33	1.18	1.24
前年同月比 (ポイント)	0.00	0.04	▲ 0.59	▲ 0.11	▲ 0.09	▲ 0.13	▲ 0.22	▲ 0.11	▲ 0.08	▲ 0.18	▲ 0.12	▲ 0.17
うち常用	1.18	1.18	0.85	1.05	1.20	1.30	1.15	1.22	1.21	1.26	1.04	1.16
前年同月比 (ポイント)	▲ 0.03	0.05	▲ 0.58	▲ 0.11	▲ 0.07	▲ 0.10	▲ 0.12	▲ 0.13	0.00	▲ 0.18	▲ 0.11	▲ 0.19

(資料)長野労働局職業安定部「最近の雇用情勢」

(注)実数値とは、新規学卒を除きパートタイムを含む季節調整前の原数値



(資料)厚生労働省「職業安定業務統計(都道府県別有効求人倍率の推移)」

(注)1. 新規学卒を除きパートタイムを含む

2. 長野県の近隣都県及び、経済規模、産業構造が類似している県